

第33回公益社団法人 日本口腔インプラント学会
東北・北海道支部 総会・学術大会 ランチョンセミナー

より「安心」、「安全」、「確実」なインプラント治療を求めて
『インプラント治療における
超音波骨折治療(LIPUS)の臨床応用』

日時: 2013年11月03日(日) 11:45~12:45

会場: ベストウェスタンホテルニューシティ弘前(ランチョンセミナー3会場)



講師: 【藤井秀朋】歯学博士

出身校: 朝日大学歯学部 卒業
朝日大学大学院 修了

現在: USTHINY DENTAL INSTITUTE (目黒区)医局長
(アスティーニ デンタルインスティテュート)

所属学会: Academy of Osseointegration Active Member
(米国インプラント学会正会員)
日本口腔インプラント学会会員
日本顎咬合学会会員
日本歯科保存学会会員
日本歯周病学会会員

超音波骨折治療“LIPUS”臨床の応用するにあたり【藤井秀朋】

超音波骨折治療法(LIPUS)とは Low Intensity Pulsed Ultra Sound の略で、骨折の治癒促進や治癒期間短縮等における臨床成績が認められており、すでに医療技術のひとつとして医科整形分野では広く認知されている存在です。超音波とは人間の可聴域(20KHz)を超えた高い周波数の『音』としてのイメージがありますが、骨折治療で用いられる場合は一般的な『音』としてではなく、超音波のもつ器械的振動(メカニカルストレス)を生体深部(骨)に安全に投入しつつ、骨の代謝活性をうながし治癒を促進することを目的とします。その臨床効果については高齢者の転倒骨折、交通事故やスポーツアスリートの新鮮骨折などの治癒促進期間の短縮などで整形外科分野では一般的な医療技術ですが、この技術を歯科臨床、特に骨に直接かかわるインプラント治療に応用するとどのような効果を得ることができるのか、学生時代から基礎研究に関わり、また現在では臨床医の立場から本講演を通してひとりでも多くの先生がたにその有用性についてお伝えできればと考えております。

超音波骨折治療(LIPUS: Low Intensity Pulsed Ultra Sound)とは

医科整形領域では2006年から保険適用であり、骨折治療の期間短縮等を目的とし、すでにエビデンスの確立された医療技術として普及しています。歯科領域での応用に関しては2005年ころから日本の歯科大学を中心とした研究グループより世界に先駆け、その応用範囲について(インプラント治療におけるインテグレーションの促進やグラフトマテリアルの早期骨化、フィクスチャーの術後動揺の抑制、歯周外科再生療法における軟組織治癒の促進、矯正における歯牙移動の促進等)数多くの研究が報告されている注目の新技術です。

協賛: 伊藤超短波(株)